

ふるさと教育推進事業について

～ふるさとを愛し、豊かな心を育む取り組み～

市では、市内の小中学校における創意工夫による教育を通して、ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる児童生徒を育むための活動を支援しています。

【ふるさと教育の背景と目的】

市内小中学校では、子どもたちが飛騨市の自然、歴史、人、文化に親しみ、ふるさとを愛する心を育むため、また、ふるさとを学ぶことを通して、地域をよりよくしようと貢献する気持ち、自己の生き方を考え主体的に取り組む力を育てるために、ふるさと教育に取り組んでいます。

市では、ふるさと教育における各小中学校が提案する活動に対し、事業予算化し、各校の活動にかかる経費について支援を行っています。

【平成29年度小中学校の活動内容と成果について紹介】

平成29年度においては、各小中学校の地元地域の特色を反映させたテーマを掲げ、次のような活動を行いました。各小中学校の具体的な取り組み内容を一つ取り上げ、ふるさと教育活動を通しての成果を学校ごとに紹介します。



■古川小学校6年生
古川大好き
私たちのふるさと飛騨古川
〔活動内容・成果〕
地域を拠点に活動している「じゃべりばち」の方々から、町の歴史、町人の習慣などについての説明をいただきました。古川町内を散策しました。家庭の努力によって町の景観が保たれていることなど、改めて知る町の魅力や古くから守られている伝統や文化について知るきっかけとなりました。また、夏休みに地域のお店や施設を見学し、食べ慣れた味噌煎餅の味の秘密や、三嶋さんが作る和ろうそくと洋ろうそくの違いなどについての説明を聞く中で、普段何気なく触れていた古川の伝統や文化における町の人たちの考え方や生き方を学びました。

この学習は、地域の方の理解と協力がなければ成り立たない貴重な体験学習となっています。自然豊かな飛騨市の地域社会の営みを理解することにつながる活動となりました。

〔活動内容・成果〕
毎年、校区にある黒内果樹園へ出かけ、果樹園の方の指導を受けながら、摘花・摘果・マージング・収穫等と、春から秋にかけて取り組んでいます。収穫したおいしいリンゴには、それまで育ててきた工夫と知恵が凝縮されていることに、体験を通して気付くとともに、収穫の喜びと共に、自然の恵みのすばらしさを感じています。

■古川西小学校3年生
リンゴ学習
黒内果樹園体験学習



活動を通して地域の方に河合の自然や文化・歴史について教えていただくことで、地歌舞伎に代表される地域の伝統を守ろうという子どもたちの意識の高まりを感じることができました。

〔活動内容・成果〕
5、6年生は、歌舞伎を伝統文化として受け継ぎ、今年新たな演目である「寿會我の対面工藤館の場」を、歌舞伎保存会や文化庁から派遣いただいた歌舞伎講師によるご指導を受け、地歌舞伎の歴史や演目の役者一人一人の特性を理解し、立ち振る舞いや台詞を意識して演じることができました。また、河合町文化祭(芸能公演)にも出演しました。

■河合小学校5、6年生
ふるさと学習発表会
地歌舞伎披露

特集 ふるさと教育推進事業について
～ふるさとを愛し、豊かな心を育む取り組み～

【活動内容・成果】
宮川町内の体験型宿泊施設を利用して、親元を離れて子どもたちだけで食事を作るなど生活しながら、いろいろな体験学習を行いました。地元『万波そばの会』からそば打ちを教えていただいたり、鮎の稚魚の放流体験を行ったりと、地域の特産や身近な自然と産業について学ぶことができました。また、「郷土料理づくり」では、『飛まわり会』の方々から、宮川の伝統的な料理について教えていただき、宮川の伝統的料理を通して宮川町の人々の絆を深めようとする願いを学ぶことができました。

■宮川小学校
ナチュールみやがわ宿泊体験



■神岡小学校2年生
「わたしの町」神岡町はっけん
～水屋を守る人達～

【活動内容・成果】

2年生生活科の学習で「わたしの町はっけん」という学習をしています。今回は、飛騨市の街並みガイドさんに、神岡町内の水屋について教えていただきました。権七水屋はいくつもの水槽に分かれていて、場所ごとに用途を使い分けていたことを教えていただきました。子どもたちは、昔の人々のくらしの知恵に驚き、感心していました。また、水が枯れてしまった水屋もあると聞き、自然を守っていくことの難しさも感じるとともに、子どもたちにふるさとを大切に思う気持ちが育ちつつあることを感じました。



■山之村小中学校
ふるさと自然の素晴らしさを発見

【活動内容・成果】

地域のガイドさんの案内で「深洞温泉」を歩きながら、巨木の説明を聞いたり、講師を招き星空観察を行ったり、子どもたちが山之村の自然の素晴らしさを身近に感じることができ、乾燥せんまい作りや寒干し作り体験から、山之村の環境を活かした農産物について学び、地域の方に説明しながら販売し喜んでもらえることで、山之村の農産物に誇りを持つことができました。様々な地元体験を通じて、山之村で活躍されている方々の話を聞く中で、山之村の魅力を再認識したり、自分の生き方について考えたりすることができました。



■古川中学校3年生
『地域応援隊』としての活動

【活動内容・成果】

「地域のために自分たちができることは何か」と考え、3年生がクラスごとに古川町の様々な施設で交流をし、地域貢献を行いました。和光園や寿楽苑、さくら保育園の方々・園児との交流を通して、地域の方々の日頃のご協力に対する感謝を示すとともに、高齢の方を敬い、大切にすることを育むことができました。これらの交流から、地域の高齢化や少子化を考える機会ともなり、地域は支えあって成り立っていることを学び、自分たちがこれからの地域を担う世代としての意識を持つことができました。



■神岡中学校
わくわくワーク事業
～地元企業の魅力体験～

【活動内容・成果】

神岡町地域にある企業が、それぞれに誇りやこだわりをもって仕事をしてみえることを知ると共に、「地域企業の魅力」や「仕事のおもしろみ」を、自身の体験を通して実感し、地域で働くことに夢が持てるようになるといふ願いから「わくわくワーク」を開催しました。神岡地域の18事業所が参加し、生徒達はワークシヨップ形式でそれぞれの会社のプレゼン聞き、その仕事ならではの魅力を一部体験しました。
生徒は「地元企業の仕事には地域の人々の工夫や情熱、願いや夢、喜びがある」ことを実感することができました。

